**データと特徴量の定義**

このドキュメントは、生データソース、処理/変換されたデータ、および、特徴量セットの中心的なハブを提供します。各データセットの詳細は、「データ概要レポート（Data Report）」で与えられます。

各データについて、個々のレポートが、データスキーマ、各データフィールドの意味、および、データを理解するために役立つその他の情報を提供します。データセットが、既存のデータセットの処理/変換/特徴量エンジニアリングの出力である場合、入力データセットの名前、および操作を実行するために使用されるスクリプトへのリンクも提供されます。

マイクロソフトによって開発された、対話型のデータ探索／分析／レポートのユーティリティ（IDEAR）は、データの探索と視覚化、およびデータレポートの生成を行うために適用されます。IDEAR を使用する方法の説明は[ここ](https://github.com/Azure/Azure-TDSP-Utilities)で見つけることができます。

各データセットに対して、Data ディレクトリ内のサンプルデータセットへのリンクも提供されます。

***このレポートを簡単に変更できるように、このページにはデータセット1へのリンクなどのプレースホルダリンクが含まれていますが、存在しないページを指すプレースホルダにすぎません。これらは、実際の場所を指すように変更する必要があります。***

**生データソース**

| **データセット名** | **元の場所** | **目的地の場所** | **データ移動ツール/スクリプト** | **データセットレポートへのリンク** |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| Dataset 1 | Brief description of its orignal location | Brief description of its destination location | [script1.py](https://github.com/Azure/Azure-TDSP-ProjectTemplate/blob/master/Docs/Data_Report/link/to/python/script/file/in/Code) | [Dataset 1 Report](https://github.com/Azure/Azure-TDSP-ProjectTemplate/blob/master/Docs/Data_Report/link/to/report1) |
| Dataset 2 | Brief description of its orignal location | Brief description of its destination location | [script2.R](https://github.com/Azure/Azure-TDSP-ProjectTemplate/blob/master/Docs/Data_Report/link/to/R/script/file/in/Code) | [Dataset 2 Report](https://github.com/Azure/Azure-TDSP-ProjectTemplate/blob/master/Docs/Data_Report/link/to/report2) |

* データセット1の概要。 <データへのアクセス方法など、データの概要を提供します。 より詳細な情報は、データセット1レポートに記載される必要があります。>
* データセット2の概要。 <データへのアクセス方法など、データの概要を提供します。 より詳細な情報は、データセット2レポートに記載される必要があります。>

**前処理済データ**

| **前処理済データ** | **入力データセット** | **データ処理ツール/スクリプト** | **前処理済データレポートへのリンク** |
| --- | --- | --- | --- |
| Processed Dataset 1 | [Dataset1](https://github.com/Azure/Azure-TDSP-ProjectTemplate/blob/master/Docs/Data_Report/link/to/dataset1/report), [Dataset2](https://github.com/Azure/Azure-TDSP-ProjectTemplate/blob/master/Docs/Data_Report/link/to/dataset2/report) | [Python\_Script1.py](https://github.com/Azure/Azure-TDSP-ProjectTemplate/blob/master/Docs/Data_Report/link/to/python/script/file/in/Code) | [Processed Dataset 1 Report](https://github.com/Azure/Azure-TDSP-ProjectTemplate/blob/master/Docs/Data_Report/link/to/report1) |
| Processed Dataset 2 | [Dataset2](https://github.com/Azure/Azure-TDSP-ProjectTemplate/blob/master/Docs/Data_Report/link/to/dataset2/report) | [script2.R](https://github.com/Azure/Azure-TDSP-ProjectTemplate/blob/master/Docs/Data_Report/link/to/R/script/file/in/Code) | [Processed Dataset 2 Report](https://github.com/Azure/Azure-TDSP-ProjectTemplate/blob/master/Docs/Data_Report/link/to/report2) |

* 前処理済データ1概要。 <そのようにデータを処理した理由などの、前処理済データの要約を提供します。 前処理済データに関するより詳細な情報は、前処理済データ1レポートに含まれている必要があります。
* 前処理済データ2概要。 <そのようにデータを処理した理由などの、前処理済データの要約を提供します。 前処理済データに関するより詳細な情報は、前処理済データ2レポートに含まれている必要があります。

**特徴量セット**

| **特徴量セット名** | **入力データセット** | **特徴量エンジニアリングツール/スクリプト** | **特徴量セットレポートへのリンク** |
| --- | --- | --- | --- |
| Feature Set 1 | [Dataset1](https://github.com/Azure/Azure-TDSP-ProjectTemplate/blob/master/Docs/Data_Report/link/to/dataset1/report), [Processed Dataset2](https://github.com/Azure/Azure-TDSP-ProjectTemplate/blob/master/Docs/Data_Report/link/to/dataset2/report) | [R\_Script2.R](https://github.com/Azure/Azure-TDSP-ProjectTemplate/blob/master/Docs/Data_Report/link/to/R/script/file/in/Code) | [Feature Set1 Report](https://github.com/Azure/Azure-TDSP-ProjectTemplate/blob/master/Docs/Data_Report/link/to/report1) |
| Feature Set 2 | [Processed Dataset2](https://github.com/Azure/Azure-TDSP-ProjectTemplate/blob/master/Docs/Data_Report/link/to/dataset2/report) | [SQL\_Script2.sql](https://github.com/Azure/Azure-TDSP-ProjectTemplate/blob/master/Docs/Data_Report/link/to/sql/script/file/in/Code) | [Feature Set2 Report](https://github.com/Azure/Azure-TDSP-ProjectTemplate/blob/master/Docs/Data_Report/link/to/report2) |

* 特徴量セット1の概要。 <各特徴量の意味など、特徴量セットの詳細な説明を提供します。特徴量セットについてのより詳細な情報は、特徴量セット1のレポートに存在するべきです。>
* 特徴量セット2の概要。 <各特徴量の意味など、特徴量セットの詳細な説明を提供します。特徴量セットについてのより詳細な情報は、特徴量セット2のレポートに存在するべきです。>